

公表

## 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		姫島こども園		公表日 令和8年 3月 23日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		1		今後、必要に応じて、教具や教材、資料を整備していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1		現在、利用数が少なく、妥当だと感じます。	センターの業務ではあるが、ニーズに応じて派遣できにくい状況。契約者を増やせないことが課題です。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		1		保育所等訪問支援事業についてのみだと、難しいです。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		保護者向け評価表を配布し、意向等を確認しています。訪問支援の実態のない利用者もいます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		1		児童発達支援、放課後等デイサービスと比べると、従業員の数も少なく、意見等を拾いにくい。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		今後、センターとして外部評価を検討しています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		保育所等訪問支援のためだけではなく、研修の機会を設けています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1		支援計画を作成する前には、丁寧にこどもと保護者のニーズを聞き取っています。	保護者だけでなく、子ども本人の意向を反映できるように丁寧なアセスメントを心がけます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		児童発達管理責任者だけでなく、本人のことを知る職員が検討に参加しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			訪問先との日程調整が難しいことが多いです。なるべく、訪問先と連携を重視しています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		計画は共有されています。	利用児が少ないこと、訪問員を派遣しにくい体制が課題です。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		保護者からの聞き取り、学校から様子を聞くなど、詳しいアセスメントをとるようにしています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。		1		利用児が少なく、踏み込んだ支援がまだできていません。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		計画は共有されています。	利用児が少ないこと、訪問員を派遣しにくい体制が課題です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1		訪問員は必ず利用児と関係する職員との情報を共有するようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1		訪問員は必ず利用児と関係する職員との情報を共有するようにしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		訪問先の体制や都合を考慮し、理念や手法を尊重するようにしています。	考え方の違いはあっても、お互いの考え方を尊重した上で協力、連携していくようにしていきます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1		必ず記録をとるようにしています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1		年2回は必ず必要性の確認をしています。保護者の意向を確認し、個別支援計画に反映しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1		利用児に関わる職員が参加するようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1			保育所等訪問支援事業については、そこまで連携が取れていません。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1		訪問員が事前に学校に出向き、本人について丁寧な情報共有をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1		センターとして、職員に研修の機会を設けています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1		センターとして、職員が自立支援協議会の子ども部会に積極的に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1		定期的に利用児の成長等の気づきを伝え合い、共通理解を持っています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			保育所等訪問支援を利用する保護者向けにはまだできていません。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1		契約時に丁寧に説明するようにしています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1		事前に連絡をとり、訪問先の下承を得るために目的を伝えるようにしています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1		利用児の意思の尊重とともに、家族の意向を聞き、学校等との連携を手助けするようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1		計画を立ててから保護者に説明を行い、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1		定期的に保護者の悩みの相談にのり、一緒に考えたり、助言したりしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1			保育所等訪問支援事業としては、父母の会や保護者同士の交流はできていないです。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1		担任や主任に対して、保護者が相談しやすい関係づくりに努めています。苦情については、保護者の意見をしっかりと聞き、園内の職員で対応を話し合い、保護者に返答しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1		センターとして毎月、園だよりを発行し、活動予定、行事内容を発信しています。HPでは毎月のクラスでの活動写真を掲載し、好評を得ています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		毎年、次年度に向けて保護者アンケートをとり、園内掲示、HP、ブログ、広報誌などへの掲載希望について確認します。個人情報記載された書類に関しては、鍵付きのキャビネットに保管しています。また、保護者参加の行事に等については、その都度、保護者に対して個人情報の取り扱いについて注意を喚起しています。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1		丁寧な意思確認や感情の汲み取り、傾聴し理解する姿勢を心がけています。子ども、保護者の状態に応じて視覚的支援を行うなど、合理的配慮を行っています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		訪問先からの相談には応じています。子どもの様子によっては電話等の相談にも対応しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		学校側の都合もありますが、後日訪問して時間をとり、カンファレンスを行うなどの工夫をしています。	今後の課題と方向性を確認して次につながるようカンファレンスをしていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		実施後にすみやかに保護者に報告をしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		個人情報が記載された書類に関しては、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		センターとして訪問先での子どもの様子等の相談に応じ、助言をしたり、一緒に考えたりしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1		センターとして各種マニュアルを保護者に周知するため、いつでも閲覧できるよう各クラスに設置しています。毎月、様々な想定避難訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		園だよりに「安全計画」を掲載し、保護者へと周知を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		ヒヤリハットを毎日の終礼で報告し、事業所内で共有しています。その都度、報告書を作成し、再発防止の取り組み、意識を高めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		マニュアルを策定し、定期的に研修を行っています。隔月で1回、虐待防止委員会を開き、子どもや保護者の状況、職員の対応などについて確認しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		身体拘束適正化委員会を隔月で1回実施しています。	